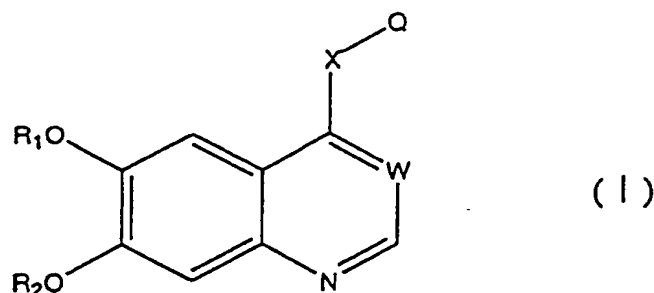




<p>(51) 国際特許分類6 C07D 215/20, 215/22, 215/36, 239/74, 239/88, 239/93, 401/12, 405/12, 409/12, 491/056, A61K 31/47, 31/505</p>	<p>A1</p>	<p>(11) 国際公開番号 WO97/17329</p> <p>(43) 国際公開日 1997年5月15日(15.05.97)</p>
<p>(21) 国際出願番号 PCT/JP96/03229</p> <p>(22) 国際出願日 1996年11月5日(05.11.96)</p> <p>(30) 優先権データ 特願平7/313555 1995年11月7日(07.11.95) JP 特願平8/62121 1996年2月23日(23.02.96) JP</p> <p>(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 麒麟麦酒株式会社(KIRIN BEER KABUSHIKI KAISHA)[JP/JP] 〒104 東京都中央区新川二丁目10番1号 Tokyo, (JP)</p> <p>(72) 発明者: および (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ) 久保和生(KUBO, Kazuo)[JP/JP] 大山伸一(OHYAMA, Shinichi)[JP/JP] 清水寿通(SHIMIZU, Toshiyuki)[JP/JP] 西島羽剛(NISHITOBA, Tsuyoshi)[JP/JP] 加藤慎一郎(KATO, Shinichiro)[JP/JP] 室岡秀子(MUROOKA, Hideko)[JP/JP] 小林好子(KOBAYASHI, Yoshiko)[JP/JP] 〒370-12 群馬県高崎市宮原町3番地 麒麟麦酒株式会社 医薬探索研究所内 Gunma, (JP)</p>	<p>(74) 代理人 弁理士 佐藤一雄, 外(SATO, Kazuo et al.) 〒100 東京都千代田区丸の内三丁目2番3号 富士ビル323号 協和特許法律事務所 Tokyo, (JP)</p> <p>(81) 指定国 AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CU, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, GB, GE, HU, IL, IS, JP, KE, KG, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MD, MG, MK, MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, TJ, TM, TR, TT, UA, UG, US, UZ, VN, ARIPO特許 (KE, LS, MW, SD, SZ, UG), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), 欧州特許 (AT, BE, CH, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, ML, MR, NE, SN, TD, TG).</p> <p>添付公開書類 国際調査報告書</p>	
<p>(54)Title: QUINOLINE DERIVATIVES AND QUINAZOLINE DERIVATIVES INHIBITING AUTOPHOSPHORYLATION OF GROWTH FACTOR RECEPTOR ORIGINATING IN PLATELET AND PHARMACEUTICAL COMPOSITIONS CONTAINING THE SAME</p> <p>(54)発明の名称 血小板由来成長因子受容体自己リン酸化を阻害するキノリン誘導体ならびにキナゾリン誘導体およびそれらを含む薬学的組成物</p> <div data-bbox="431 1318 943 1667"> </div> <p>(I)</p> <p>(57) Abstract Novel quinoline derivatives and quinazoline derivatives represented by general formula (I) which have an inhibitory effect on the autophosphorylation of growth factor receptors originating in platelets and pharmaceutically acceptable salts thereof; pharmaceutical compositions containing these compounds; and a method for treating diseases relating to the abnormal proliferation of cells such as the proliferation of tumors, wherein R₁ and R₂ represent each H or C₁₋₄ alkyl, or R₁ and R₂ together form C₁₋₃ alkylene; X represents O, S or CH₂; W represents CH or N; and Q represents substituted aryl or substituted heteroaryl.</p>		

(57) 要約

本発明は、下式 (I) :



[式中、 R_1 、 R_2 は個別にHまたは $C_1 - C_4$ アルキルであるか、あるいは R_1 と R_2 は一緒になって $C_1 - C_3$ のアルキレンを形成するものであり、XはO、Sまたは CH_2 であり、WはCHまたはNであり、Qは置換されたアリール基または置換されたヘテロアリール基である]で表わされる血小板由来成長因子受容体自己リン酸化の阻害作用を有する新規キノリン誘導体ならびにキナゾリン誘導体、およびそれらの薬学的に許容できる塩、並びにこれら化合物を含有する薬学的組成物、および腫瘍の増殖などの細胞の異常増殖にかかわる疾病の治療方法に関するものである。

情報としての用途のみ

PCTに基づいて公開される国際出版をパンフレット第一頁にPCT加盟国を同定するために使用されるコード

AL	アルバニア	EE	エストニア	LR	リベリア	RU	ロシア連邦
AM	アルメニア	ES	スペイン	LT	リトアニア	RS	セルビア
AT	オーストリア	FI	フィンランド	LU	ルクセンブルグ	SC	スロベニア
AZ	アゼルバイジャン	FR	フランス	LV	ラトヴィア	SK	スロバキア
BB	バルバドス	GB	イギリス	MC	モナコ	SN	セネガル
BE	ベルギー	GE	グルジア	MD	モルドバ	SS	スウェーデン
BF	ブルキナファソ	GH	ガーナ	MG	マダガスカル	ST	セント・トメ・プリンシペ
BG	ブルガリア	GN	ギニア	MK	マケドニア	TG	トーゴ
BJ	ベナン	GR	ギリシャ	ML	マリ	TJ	タジキスタン
BR	ブラジル	HU	ハンガリー	MN	モンゴル	TM	トルクメニスタン
BY	ベラルーシ	IE	アイルランド	MR	モーリタニア	TT	トリニダード・トバゴ
CC	中央アフリカ共和国	IT	イタリア	MW	マラウイ	UA	ウクライナ
CF	コンゴ	JP	日本	MX	メキシコ	UG	ウガンダ
CG	コンゴ	KE	ケニア	NE	ニジェール	US	米国
CH	スイス	KR	韓国	NL	オランダ	UZ	ウズベキスタン
CI	コート・ジボワール	KG	朝鮮民主主義人民共和国	NO	ノルウェー	VN	ベトナム
CM	コンゴ	KZ	カザフスタン	NZ	ニュージーランド	YU	ユーゴスラビア
CN	中国	LI	リビア	PL	ポーランド		
CZ	チェコ共和国	LU	ルクセンブルグ	PT	ポルトガル		
DE	ドイツ	LI	リビア	RO	ルーマニア		
DK	デンマーク	LK	スリランカ				